



平成 27 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー

代表者名 代表取締役 社長執行役員 森 康洋

(JASDAQ・コード番号：2777)

問合せ先 取締役 執行役員管理本部長 小林 要介

電 話 03-6439-1360

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、平成27年2月13日に公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 12 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	5,000	250	240	208	54 82
今回発表予想(B)	4,472	78	85	50	13 28
増減額(B)－(A)	△528	△172	△155	△158	
増減率(%)	△10.6	△68.8	△64.6	△76.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年12月期第2四半期)	—	—	—	—	—

2. 業績予想の修正理由

当第2四半期累計期間において、カッシーナ・イクスシーの法人営業部門において第2四半期累計期間内に売上計上できる取引の受注が想定を下回ったこと、2014年9月に連結子会社化したコンランショップ・ジャパンの売上回復が遅れていることを主な要因として、売上高が前回発表予想を下回る見込みであります。営業利益につきましては、カッシーナ・イクスシーにおける輸入原価が期初に想定した為替レートよりも円高ユーロ安水準で推移したこともあり、粗利率が予想を上回る結果となりましたが、販売費及び一般管理費のうち人件費、地代家賃といった固定費が大きな割合を占めているため、売上高が予想を下回ったことをカバーするだけの削減を行うことができず、営業利益も前回発表予想を下回る結果となる見込みです。

営業外損益及び特別損益につきましては、おおむね予想の範囲内となりました結果、経常利益、四半期純利益につきましても営業利益の予想修正分と同様に、前回発表予想を修正するものであります。

3. 今後の見通し

平成 27 年 12 月期通期業績予想につきましては、カッシーナ・イクスシーの法人営業部門において第 3 四半期以降に売上計上を行う予定の取引が積みあがってきていることや、コンランショップ・ジャパンにおいても基幹店である新宿本店、丸の内店における改装やオリジナル商品の積極投入によって、販売強化する予定であることから、前回発表予想である売上高 10,500 百万円、営業利益 630 百万円、経常利益 590 百万円、当期純利益 530 百万円を修正いたしません。

4. その他

上記の業績予想につきましては、本資料の発表時点において入手可能な情報及びその業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上